001-00

Python

# 初めての Python(パイソン)

2023-05-23

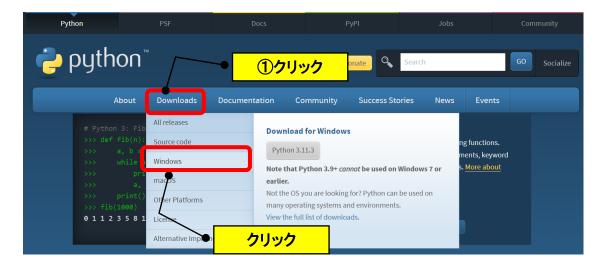
**TOMOMI** 

#### 目 次

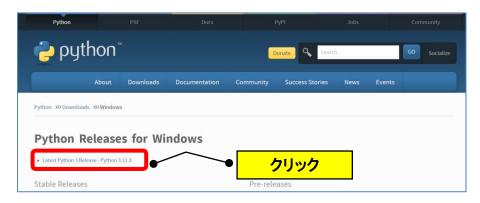
[1]	ダウンロードする	. 1
	インストールする	
[3]	IDLE を起動する(Windows11 の場合)	6
[4]	掛け算をする(四則演算子=+-*/)	8
[5]	文字列を結合する(文字は前後を「′」シングルクォーテーションで囲む)	8
[6]	値の大小を比較する(True = 真、False = 偽)	ç
[7]	Print(プリント)関数	LC
[8]	ファイルのコードを保存する	L 1

# 【1】ダウンロードする

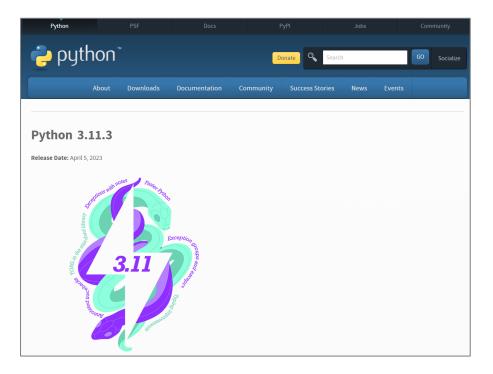
(1) 下記の Python のページから「Downloads」→「Windows」をクリックします。
https://www.python.org/



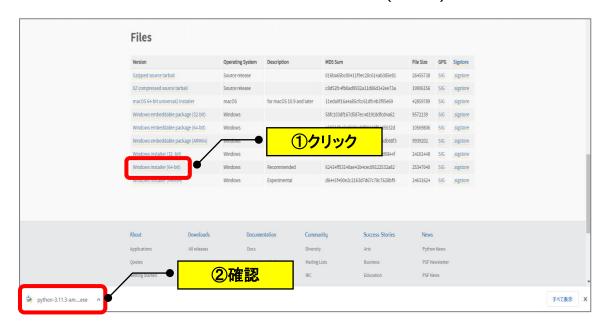
(2) 最新バージョンの Python をダウンロードします。(「Latest Python 3 Release - Python 3.11.3」をクリック)



(3) Python 3.11.3 のページが表示されます。



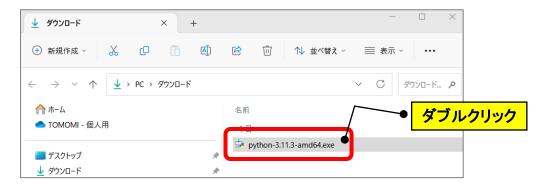
(4) 下にスクロールして Files の「Windows installer (64-bit)」をクリックします。



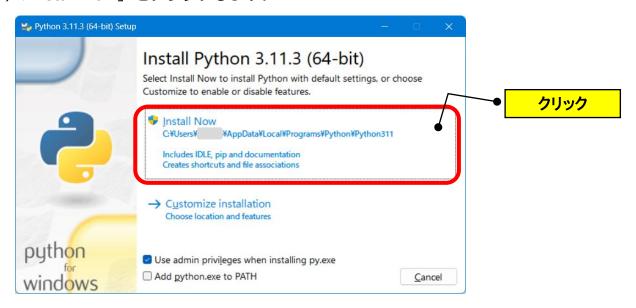
(5)上記の画面は「 $\times$ 」で閉じ、ダウンロードフォルダの「python-3.11.3-amd64.exe」を確認します。

### 【2】インストールする

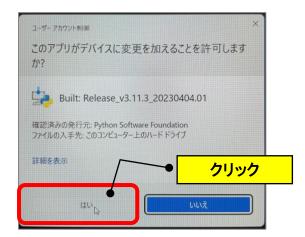
(1) ダウンロードの「python-3.11.3-amd64.exe」をダブルクリックします。



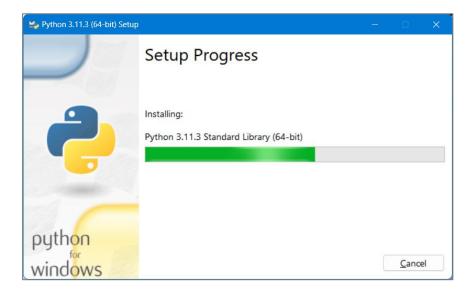
(2)「Install Now」をクリックします。



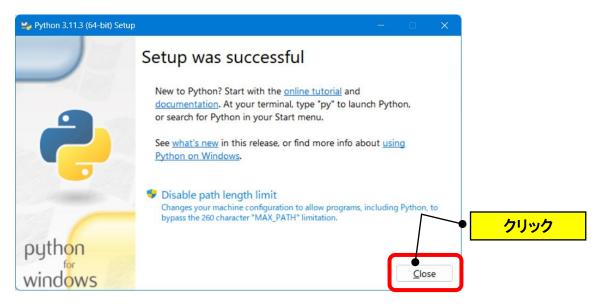
(3)「はい」をクリックします。



#### (4) インストールされます。



(5)「Close」をクリックします。



(6) これで、自分のパソコンに「python」(パイソン) がインストールされました。

## 【3】IDLE(アイドル)を起動する(※Windows11 の場合)

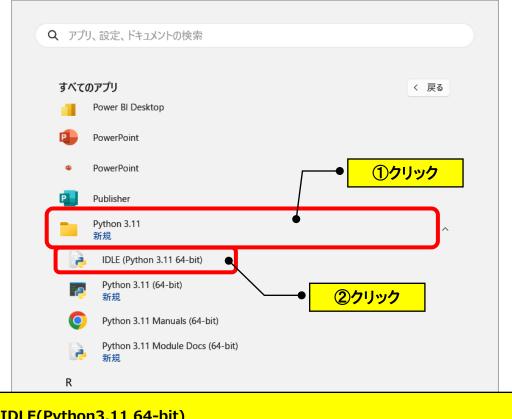
(1) スタートボタンをクリックします。



(2)「すべてのアプリ」をクリックします。



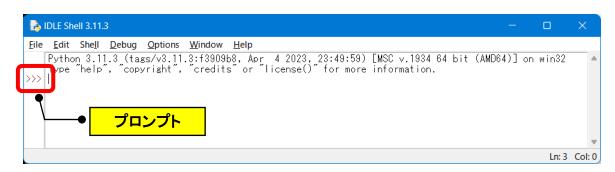
(3) Pの箇所の「Python3.11」→「IDLE(Python3.11 64-bit)」をクリックします。



#### IDLE(Python3.11 64-bit)

プログラムコードを1行単位で実行・検証したり、まとまったプログラムファイル として作成したりできる簡易的な統合開発環境。

(4) IDLE 画面が起動して、対話モードでコードを実行できる「Shell」(シェル) のプログラム画面が表示されます。(コードを入力する行に「>>>」(プロンプト)が表示)

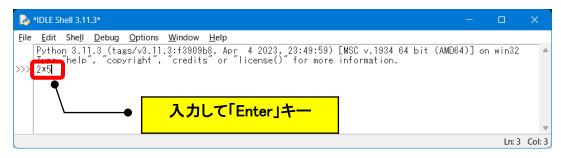




- ●IDLE(アイドル) = Python 用の統合開発環境(テキストエディタ)
- ●Shell(シェル)=プログラム

# 【4】掛け算をする(四則演算子=+-\*/)

(1)「2\*5」と入力して、「Enter」キーを押します。



(2)「10」と表示されます。

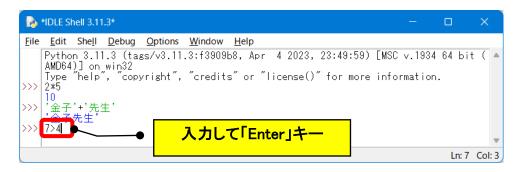
## 【5】文字列を結合する(文字は前後を「'」シングルクォーテーションで囲む)

(1)「'金子'+'先生'」と入力して、「Enter」キーを押します。

(2)「'金子先生'」と表示されます。

### 【6】値の大小を比較する(True=真、False=偽)

(1)「7>4」と入力して、「Enter」キーを押します。



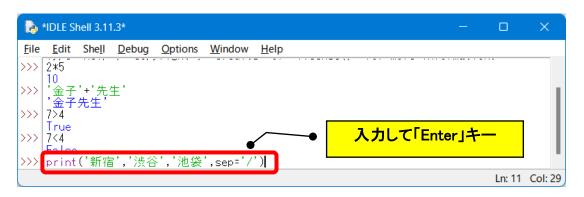
(2)「True」と表示されます。(7は4よりも大きいは正解)

(3)「7<4」と入力して、「Enter」キーを押します。</li>「False」と表示されます。(7 は 4 よりも大きいは不正解)



## 【7】Print(プリント)関数

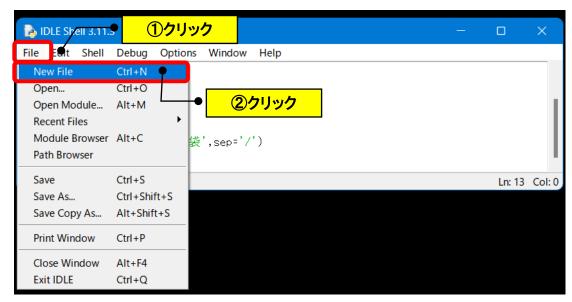
- ●結果に「′」が表示されない
- ●「,」で区切ると、半角スペースになる
- 「sep='/'」→「/」で区切る
- (1)「print('新宿','渋谷','池袋',sep='/')」と入力して、「Enter」キーを押します。



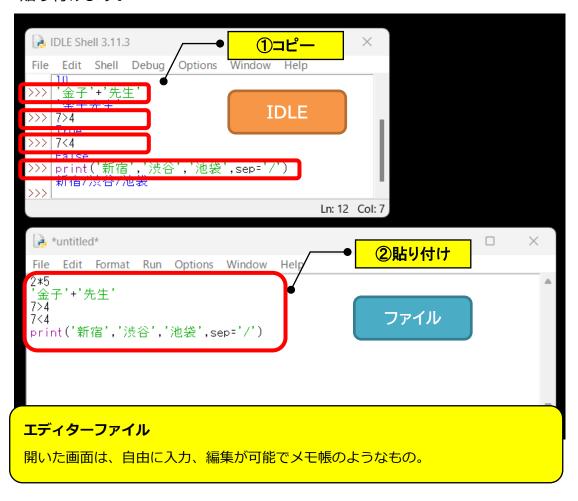
(2)「新宿/渋谷/池袋」と表示されます。

#### 【8】ファイルのコードを保存する

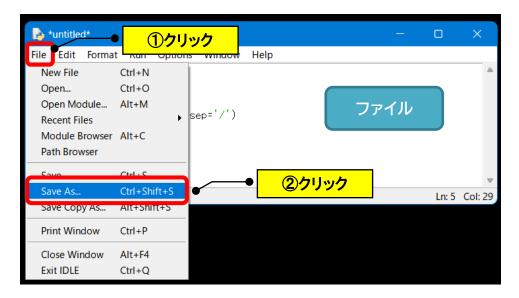
(1) 「File」→「New File」をクリックします。



(2) IDLE で実行したコード (>>>の部分) を、開いたファイルに 1 行ずつコピーして 貼り付けます。

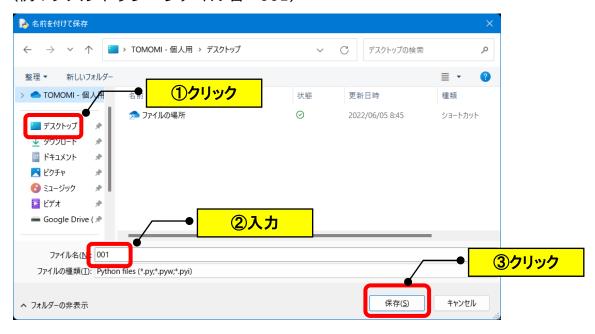


(3) ファイルの「File」→「Save As」をクリックします。



(4) 任意の場所に、名前をつけて保存します。

(例:デスクトップ→ファイル名=001)

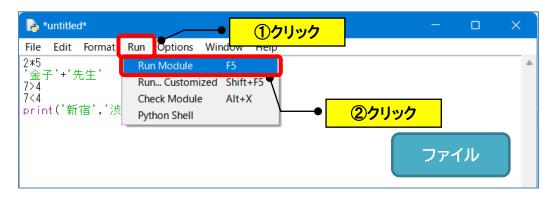


(5) 下記のようなファイルが保存されます。(拡張子:.py)

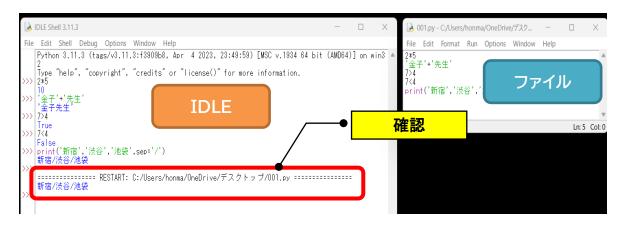


中身を見たい場合は、メモ帳を開いてアイコンをドラッグします。

(6) ファイルの「Run」→「Run Module」をクリックします。



(7) IDLE の画面に実行結果が表示されます。



ファイルで実行した内容が、IDLE に表示される。

以 上

ただし、5行目の print 関数で指定した内容のみで、 $1\sim4$ 行目は、単なる式で出力指定(print 関数)を指定していないため、表示されない。

# お疲れ様でした!

